

都留 まちかど 今昔

まちは変わっていきます。人もまた、変わります。過ぎ去りし日の写真と、現在の写真を並べてみましょう。何かが、見えるかもしれません。



大正中期(1919)頃



平成24年(2012)

両時代の時間経過は、

約93年。

第29回・「田原の滝」

今回は、田原の滝の写真です。古い写真は、今月もまた、はつきりとした年代はわからないものの、滝の向こうに富士電気軌道(現在の富士急行)の鉄橋が見えないことから、鉄道が走る前の大正中期頃ではないかと推定しました。

この田原の滝は、江戸期に谷村を訪れた松尾芭蕉に「勢いあり 氷消えては 滝津魚」と詠まれたことをはじめ、昔から名瀑として多くの文人墨客に知られていました。

昔は上下2段の美しい滝であったといわれていましたが、明治期からの記録を見ると、明治31(1898)年に両岸が崩れ、1段の滝となり、その後関東大震災(大正12・1923年)からも両岸の崩れが続き、滝の位置は上流へ30メートルほど後退したと記されています。その後、昭和33(1958)年に周辺の安全を確保するため、高さ10メートルの砂防堰堤が設置され、平成9年度からは溪流再生工事が行われ、現在の形となりました。2枚の写真と比べると、まったく滝の形が変わっており、昔は滝の上に木製の橋が架かっていたのが確認できます。

変わらないようにでいて、こんなにも違う私たちの身近な風景。時間の流れを感じませんか。

都留市役所開庁日のご案内

月曜日～金曜日 8:30～17:15(祝日は閉庁)

水曜日は市民生活課・税務課のみ 19:00まで開庁

広告掲載欄

広告掲載欄